令和３年度事務事業評価シート　（評価対象年度　令和２年度）

●基本情報

事業名(取組名)		大学との連携事業				評価番号	5-1-4-1
担当課		政策企画課	係	地域振興係	予算科目		☐ 予算なし
基本計画	基本方針	【５】みんなが主役でともに進むまちづくり				会計	【01】一般会計
	基本施策	【１】町民参加体制の充実				款	【0102】総務費
	施策	【４】日本ウェルネススポーツ大学との連携強化				項	【010201】総務管理費
	主な取組	①大学との連携事業の推進				目	【01020107】まちづくり推進事業費
						事業	大学との連携事業

●計画　～PLAN～

根拠法令等	◉ なし　○ あり	名称	
新規・継続	○ 新規　◉ 継続	事業開始年度	平成　24　年度　☐ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり（事業終了年度：令和　　年度）　◉ 単年度繰り返し　○ 単年度のみ		
実施手法（すべてチェック）	☑ 町が直接実施（直営）　☐ 委託〔☐ 全部委託　☐ 一部委託〕　☑ 補助金等 ☐ 町民協働　☐ 指定管理　☐ 事務局　☐ その他（　　）		
実施形態	☑町単独　☐国・県補助事業　☐国・県補助事業+町事業(上乗せ)　☐その他（　　）		
事業概要	町と日本ウェルネススポーツ大学との連携に関する協定書に基づき，大学との連携事業を実施して地域活性化を図ります。		

●実施　～DO～

事業業績	日本ウェルネススポーツ大学石田良恵教授に講師を依頼し，公開講座を１回実施しました。また，「キャンパスライフ応援マップ」を作成・配布し，学生生活支援を行いました。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生を支援するため，利根町産のコシヒカリを大学に寄贈し，また，大学内での新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため支援金を交付することで，大学との連携を推進しました。

		主な歳出の節	平成３０年度（実績）	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）
支出	内訳	7　報償費	80,000　円	80,000　円	40,000　円
		10　需用費	93,906　円	103,983　円	313,410　円
		13　使用料及び賃借料	48,000　円	円	円
		18　負担金，補助及び交付金	円	円	500,000　円
			円	円	円
		その他	円	円	円
	事業費　計		221,906　円	183,983　円	853,410　円

		主な歳入の科目	平成３０年度（実績）	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）
財源	内訳	国支出金	円	円	500,000　円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	221,906　円	183,983　円	353,410　円
	事業費　計		221,906　円	183,983　円	853,410　円

●評価　～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	◉ 貢献している　○ 見直す余地がある	
		理由	連携事業の実施により，相互の活性化が図られました。また，大学支援を実施することで，大学との連携の推進が図られました。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	◉ 妥当である　○ 見直す余地がある	
		理由	大学連携においては，町と大学の双方が主体的に取り組むことが必要であると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	◉ 余地がない　○ 見直す余地がある	
		理由	公開講座については，多くの町民に参加していただいており，講座の受講後のアンケートでも好評な評価を得ています。キャンパスライフ応援MAPについても，学生に対する町内店舗の利用促進に寄与していると考えます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	○ 可能性がある　◉ 可能性がない	
		理由	日本ウェルネススポーツ大学は，町内唯一の大学であり，今後も連携してまちづくりに取り組むことが重要と考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	○可能性がある　○可能性がない　◉類似事業はない	
		理由	
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	◉ 余地がない　○ 余地がある	
		理由	現状の事業費で適当と考えます。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	○ 適正である　○ 見直す余地がある ◉ 受益者負担を求める事業ではない	
		理由	

●改善　～ＡＣＴＩＯＮ～

今後の方向性	継続　（ ◉ 現状維持　○ 縮小　○ 改善　○ 拡大　）○ 休止　○ 廃止（終了）　○ 統廃合　○連携
	【理由】 引き続き，日本ウェルネススポーツ大学と連携して事業を実施し，相互の活性化を図ります。